

〒261-8540 千葉県千葉市美浜区中瀬 1-5-1 イオンタワー6階
TEL: 043-212-6471 FAX: 043-212-6746

<http://www.ministop.co.jp/>

ミニストップFC加盟店応募受付センター(受付時間 10:00 ~ 19:00)

0120-324-109

お客さまサービスコールセンター(受付時間 9:00~17:30 日曜日除く)

0120-865-132

AEON

木を植えています
私たちはイオンです

会社案内 2016-2017



©2016 MINISTOP Co., Ltd. 07.25



ミニストップ株式会社



コンビニエンスストア業界を取り巻く環境は、業界再編の流れが大きく進み、業態を超えた競争も激しさを増しています。厳しく不安定な市場環境にありますが、「毎日の生活に欠かせない品揃えとサービス」は、お客さまにとって不変の価値です。ミニストップが地域の生活インフラとなることで、お客さまに選んでいただける店舗の実現を目指します。

2014年に策定したビジョンを深化させ、今年度は「もっと便利、もっと健康、もっと感動」をお客さま視点で売場と商品で実現いたします。そのための基本施策が「他にはない価値の創造」です。ミニストップは、できたてのおいしさを提供することで価値をつくり差別化を図ってきました。特に、店内加工のノウハウを生かしたコールドスイーツやホットスナックは年々売り上げを伸ばし、私たちの絶対的な強みとなっています。そしてこの強みは、「お客さまに心から満足していただく」という加盟店と本部の共通の目標に向かって双方が構築してきた信頼関係を基盤としています。これからもこの関係を大切に、価値ある商品や便利なサービスで加盟店とともに日々ミニストップらしさを磨き、お客さまに選んでいただける店舗づくりを進めてまいります。

ミニストップ株式会社 代表取締役社長

ミニストップのミッション

ミッションは、私たちがなすべきもの、使命をあらわしています。

私たちは、
「おいしさ」と「便利さ」で、
笑顔あふれる社会を実現します。

ミニストップのビジョン

ビジョンは、ミニストップピープル全員で目指す店舗イメージをあらわしています。

もっと便利、もっと健康、もっと感動、
毎日行きたくなる店舗をつくります。

加盟店オーナーさまの満足がそのまま、私たちの満足です。

ミニストップを経営する満足と喜びをすべての加盟店オーナーさまと分かち合いたい。
そして、さらに一歩先へ前進するために、同じ目標を共有し、手を携え歩みたい。

ミニストップの存在意義は、コンビニエンスストア事業を通じて、お客さまにご満足いただけるオリジナリティあふれる商品やサービスを世に送り出すこと。そのためにはまず、加盟店オーナーの皆さまがミニストップの経営に満足と喜びを感じていただけることが大前提と私たちは考えます。

そして、そのための仕組みを真剣に検討し、実践していくことが、皆さまと手を携え歩むための果たすべき役割だと私たちは認識しています。ミニストップが最も大事にしているのは、こうしたパートナーシップという考え方。決して企業の論理を一方向的に押しつけるのではなく、加盟店オーナーの皆さまと同じ目標を共有し、実現のために互いの力を出し合える関係でありたいと思います。

加盟店さまは店舗経営と販売に専念、本部は多面的にサポートすることで、共存共栄を目指します。

加盟店

- 店舗のマネジメント
Quality (品質)
Service (サービス)
Cleanness (クリンネス)
品揃え
- スタッフのマネジメント
- 経営のマネジメント

本部

- ストアアドバイザーによる経営アドバイス
- 商品の開発・サービス
- 広告宣伝活動
- 情報システムの構築
- 会計業務代行
- 教育

共存共栄



ミニストップの強み

ミニストップは、お客さまのニーズやライフスタイルの多様化にいち早く対応した「多彩な商品と便利なサービス」、国内最大の小売グループである「イオンのグループシナジー」、加盟店の成功を後押しする「安心の運営サポート」を特長とした強みにより、お客さまから常に支持をいただいています。私たちはこれらの強みを生かし、お客さまから選ばれる店舗展開を図り、笑顔あふれる社会の実現を目指しています。

目次	ごあいさつ	1
	ミニストップの強み	3
	多彩な商品と便利なサービス	5
	イオンのグループシナジー	12
	安心の運営サポート	13
	イオンの概要	19
	会社概要	21

Unique Products and Convenient Services 多彩な商品と便利なサービス

ミニストップは、創業当初よりコンビニエンスストアと店内加工ファストフードを組み合わせたコンボストア※という独自のスタイルで、差別化を図ってきました。店内に併設した本格的な厨房でつくられるファストフードは、ミニストップの看板商品。お惣菜やデイリー食品も強化し、多彩な商品を展開しています。また、ATMの設置やプリペイドカードなど各種サービスも充実させ、常に便利さを追求しています。

※ コンビニエンスストアとファストフード店を融合させた業態を表すミニストップの造語

Group Synergies イオンのグループシナジー

国内最大の小売グループであるイオン。その一員である利点は、国内外の市場に浸透しているイオンのブランド力です。また、イオンのプライベートブランド「トップバリュ」の取り扱いや、商品の共同開発などにより、魅力的で価値ある商品をご提供。グループシナジーを最大限に活用し、多様化するお客さまのニーズの一步先を行く商品開発を目指しています。

Success for Owners 安心の運営サポート

加盟店が安心して店舗運営に専念できるよう、本部はさまざまな面からサポートを展開しています。特に教育面では独自システムを確立しており、本部のトレーナーが責任を持って指導いたします。さらに、地域にとってなくてはならない店舗となるため、人材育成に加え、お客さまに選ばれる売場づくりまで、常にオーナーの皆さまをバックアップいたします。



ミニストップにしかつくれない コールドスイーツ

ミニストップはソフトクリームをはじめ、お客さまのニーズを先行し旬の食材やトレンドを取り入れ、コールドスイーツの開発に力を入れてきました。手づくりにこだわるミニストップだからこそできるこれらの商品は、その多くが発売ごとにお客さまから高い支持を得ています。



原料と品質にこだわったミニストップのスイーツ

創業当初より発売している「ソフトクリーム バニラ」は、お客さまの嗜好(しこう)の変化に合わせた味を追求しながら、発売から36年目を迎えています。北海道産生乳と生クリーム、コクを出す国産卵黄、香り豊かなマダガスカル産バニラなど、こだわりの原料と徹底した品質管理で、他社には真似できない本物の味をつくっています。このクオリティが認められ、国際評価機関であるモンドセレクションにおいて、2014年から3年連続で最高金賞を受賞し、インターナショナル・ハイクオリティー・トロフィーを授与しています。同時にデザートコーンも最高金賞を受賞しています。

老若男女多くのお客さまに支持されるハロハロ

夏季限定のスイーツ「ハロハロ」は、毎年新たなフレーバーを発売し、多くのお客さまに支持されています。年齢・男女問わず誰もが食べたいと思う商品をラインアップし、日々開発を重ねることで新たな価値を付加しています。2015年に発売した「黒蜜きなこ」は2016年、黒蜜シロップに使用する黒糖の味を最大限生かせるように改良しました。また同年は定番商品に加え、「冷凍みかん」や塩とレモンを使った「ソルティレモン」など、原料にこだわったハロハロを発売しています。



果肉たっぷり、季節感満載のパフェ

果肉をたっぷり味わえるフルーツパフェシリーズも、毎年多くのお客さまにお買い求めいただく人気商品です。2016年第1弾となった「練乳いちごパフェ」は、発売から28日で200万食を突破し、過去発売したパフェの中で最も早い記録をつくりました。またシリーズで人気No. 1の「マンゴーパフェ」も毎年改良を重ね、今年はソースに使用する果汁の配合量を前年比5%アップしました。季節の果物をふんだんに使ったパフェは、ミニストップの差別化商品の一つになっています。



ロングセラーの秘密は、ミニストップだけのマイスター制度



ソフトクリーム
マイスターバッジ

ミニストップは2003年9月より、加盟店従業員を対象としたソフトクリームマイスター制度を導入しています。ミニストップの象徴であるソフトクリーム、そのプロフェッショナルを養成するための制度で、ソフトクリームに関する豊富な知識のほか、ソフトクリームをつくる機械についても熟知し、規定の量を美しい形でご提供できる技が求められます。マイスターは、2016年春で延べ3万1,000人を超えました。できたての味にこだわるミニストップならではのこの制度は、店舗の差別化とスタッフ育成に貢献しています。



価値を追求したホットスナック

ミニストップは、ファストフードの先駆者としてさまざまな商品を提供し続けてきました。本格的な厨房を備え、蓄積された店内加工のノウハウのもと、実績を重ねてきた私たちが提供するホットスナックは、そのおいしさと品質に絶対の自信を持っています。素材へのこだわり、徹底した品質管理体制で、価値ある商品をつくり続けています。



ジャガイモのおいしさそのままに、異なるカットで味わい変化

ミニストップは、これまでに品種や産地を変えながら、さまざまなフライドポテトを発売しています。2004年に発売を開始した「X(エックス)フライドポテト」は、X型カットにより表面積が広がるため、よりサクサクした食感が特徴です。マイルドな味わいのドイツ産ジャガイモ「アグリア」種を使用し、素材の味もしっかり楽しめます。軽やかな食感と味わい、ユニークな形が人気を呼び、今ではホットスナックで最も販売数を誇る商品となりました。

ジャガイモは、品種やカットの仕方です食感や味わいに変化します。そこで冬には「十勝ハッシュドポテト」など、産地にこだわったポテトも販売しています。ミニストップは「芋を味わうフライドポテト」をコンセプトに、バラエティに富んだ商品を展開しています。

お客さまのニーズに応えた充実のラインアップ

ポテトとチキンの新しいコラボレーションとして、2010年に発売を開始したクランキーチキンも、「Xフライドポテト」と並ぶ人気商品です。これまでに、数々の味のバラエティ商品を発売してきましたが、2016年は、過去発売し好調だった「クランキーチキン 辛旨味」に“怪味調味料※”を加えて、クセになる辛さが楽しめる「クランキーチキン ピリ辛味」を発売しました。

また、健康志向の高まりを受け開発したのが、鶏むね肉を使用した「フィレ唐揚げ」です。鶏むね肉は脂肪分が少なく、カロリーを意識した女性のお客さまを中心にご購入いただいています。

※ 唐辛子をはじめ、八角、胡椒、シナモン、砂糖、香味野菜などを材料とした中国・四川省生まれの混合調味料。

ホットスナックは、ご注文後、店内厨房で最終加工します。できたての味わいを提供できるのは、ミニストップならではのノウハウが生かされているからです。



地域密着型店舗の原点ーイトインー

ミニストップのイトインコーナーは、お客さまに商品をお召し上がりいただける「おいしさ」や「便利さ」をご提供し、「くつろぎと憩い」の場となっています。コンボストアのコンセプトに基づくイトインコーナーはほぼ全店に設置されており、地域に根付いた店舗づくりに欠かせないミニストップの原点となっています。



地域のお客さまのニーズにきめ細かく対応

ミニストップでは2015年度より、地域特性や地域文化に根づいた商品開発を強化し、東北、東海、近畿、四国、九州の地域商品の開発を進めています。ご当地で人気の商品を商品化するだけでなく、その地域ならではの調味料や食材を使用するなどして地域ごとに異なる味わいを追求し、各地域のお客さまのニーズにきめ細かく対応しています。

また2016年5月に開催された伊勢志摩サミットを記念し、開催地である地元伊勢志摩の食材を使用した商品を東海地区限定で販売し、商品を通じて伊勢志摩サミットの応援、周知を図りました。





Unique Products and Convenient Services 多彩な商品と便利なサービス



健康訴求商品のラインアップを拡充

ミニストップは、ますます高まるお客さまの健康志向にお応えし、カロリーや食材そのものの機能性などに着目。ドライフルーツやココナッツオイル、ブランを使用したパン、糖質を抑えたスイーツなど品揃えを強化しています。お客さまに選ぶ楽しさをご提供するため、オリジナル商品の開発のみならず、さまざまな商品を取り揃えています。



高付加価値商品の展開



「キヌア」を使用したチョコレート、「乳酸菌」を使用したチョコレートやゼリー、ビスケットに加え、4種類の雑穀が入ったノンフライのスナックなどを発売しています。パッケージも、「乳酸菌」や「糖質50%オフ」などの特性をアイコンで示し、分かりやすい表示にしています。

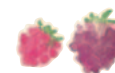
またお菓子に加え、女子栄養大学監修のもとに開発した栄養バランスを考慮したお弁当、おにぎり、着色料や香料を使用せず、素材の味わいを引き出したシャープベットの展開し、オリジナル商品の充実を図っています。

健康・機能性商品へのニーズに応え2015年にオリジナル菓子を刷新し、2016年は「健康感」に加えトレンドを取り入れ、品揃えを拡充しました。スーパーフードとして話題の

新業態の健康訴求店－cisca(シスカ)－



ミニストップは2014年9月、新業態店舗「cisca」1号店(日本橋本町)をオープンしました。ciscaは、カフェをベースに、デリカテッセンとグロッサリー専門店を融合させた新しいタイプの店舗です。「わくわく、どきどき、買物が楽しくなるお店」を目指し、野菜や果物のスムージー、魚介のスープ、カロリー控えめの蒸しドーナツなど、お客さまのニーズに対応した健康的な商品を多数取り揃えています。朝・昼はカフェとして、夜はお酒も飲めるバルとして、多くのお客さまにご利用いただいております。都内での店舗展開を進めています。



サービス拡充でもっと便利に

ミニストップは、食品、日用雑貨品のほかサービスの充実にも取り組んでいます。電子マネーやギフトカード※などを含む各種プリペイドカードに加え、新たにギフトサービスとして「MINISTOP e-GIFT」を開始し、EC(イーコマース：電子商取引)と併せて、より便利な店舗を目指しています。

※18ページをご参照ください。



大切な人に気持ち伝える MINISTOP e-GIFT

ミニストップは、SNSやメールを通じて日常の色々なシーンで商品をギフトとして贈ることができる「MINISTOP e-GIFT」※1を導入しています。

贈る方は、直接会うことができない方にも、また、住所や電話番号を知らない方へも、メッセージとともに商品を贈ることができます。贈られた方は、MINISTOP Loppiでギフト券を発行し、レジで対象商品※2と引き換えることで、贈り物を受け取ります。大切な人にさまざまな気持ちを伝える便利なツールとしてご活用いただいております。

※1 (株) ギフティが提供するギフト販売システム「e-Gift System」を活用しています。

※2 贈られたギフトには有効期限があります。また、一部販売していない店舗および時間帯があります。

MINISTOP e-GIFT <https://gift.ministop.co.jp/>





Unique Products and Convenient Services
多彩な商品と便利なサービス



さまざまな施設への 店舗展開

ミニストップでは、従来の形態にとらわれない新たな立地への出店を進め、あらゆる地域のお客さまに「おいしさ」と「便利さ」をご提供しています。

高速道路

高速道路のパーキングエリアの立地に展開しています。イートインコーナーが、ドライブの疲れを癒やす憩いの場となっています。



病院

病院の患者さんや職員の方々が快適に過ごせる病院環境の向上を支援する出店を進めています。狭小スペースや駐車場など院内スペースを有効活用した出店事例も豊富です。



大学

学生や教職員の方々に「食」・「くつろぎ」・「語らい」の場としてご利用いただけるよう、大学内の出店も進めています。



着実に進むFSC®認証木材活用店舗出店



ミニストップは従来、国産FSC®認証木材を活用した店舗の出店を進めてきました。2009年に1号店が完成、2014年度に100店舗の目標を達成しました(2016年2月末現在152店舗)。FSC®認証木材による店舗建設は、従来の鉄骨工法に比べ、CO₂を約33%削減、工期を約10日削減できます。私たちは環境保全活動の一環として、今後もFSC®認証木材を活用した店舗開発を進めていきます。

※ FSC® (Forest Stewardship Council : 森林管理協議会) は、森林環境保全に配慮し、地域社会の利益にもかない、経済的にも継続可能な形で生産された木材を認証する国際的な会員制の非営利組織です。この世界的に認証されたFSC®マークが入った製品を使用することにより、世界の森が健全に保たれ、地球環境を守ることにつながります。



Group Synergies
イオンのグループシナジー



お客さまのニーズに応じた 食生活をサポート

ミニストップはグループ力を生かし、プライベートブランド「トップバリュ」を取り扱っています。国内No. 1規模のプライベートブランドである「トップバリュ」の取り扱いにより、私たちは、お客さまの日々の食生活に必要な品揃えを目指しています。

イオンのグループ力を 生かした商品開発



2013年より、ミニストップが主体となった「トップバリュ」の開発も進めており、お茶や炭酸水、フリーズドライ、カップ麺、衣料などを商品化してきました。今後もイオンのグループ力を活用しながら、お客さまにご満足いただける商品開発を進めていきます。



グループインフラを 最大活用

イオングループ共通のインフラは、競争力を高めるとともに事業間のシナジーを生み出す大きな差別化となっています。

WAON



「WAON」は、全国のイオン店舗や提携する店舗でご利用いただける、グループの枠を超えて展開する電子マネーです。

イオン銀行
ATM



小売業発のリテール・フルバンキングを展開するイオン銀行のATMを設置しています。(一部店舗を除く)

イオン
カード

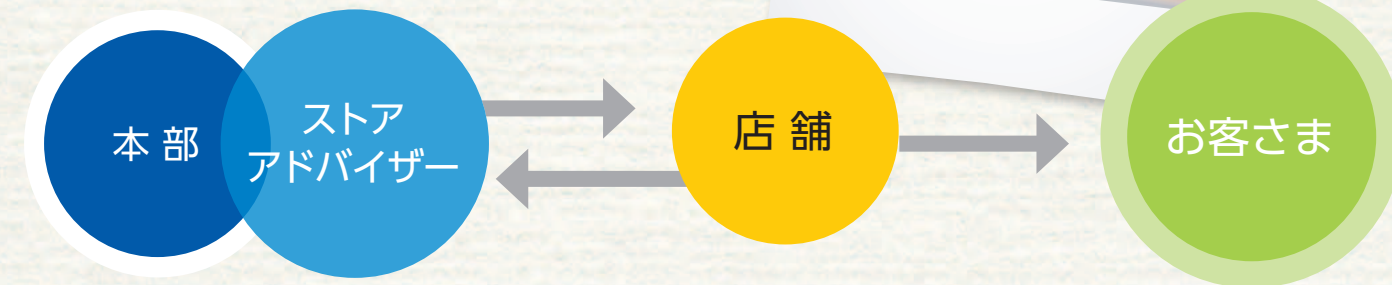


年会費無料で各種割引特典をご利用いただけるほか、生活に役立つさまざまな機能を付加できる便利なカードです。



「もっと便利、もっと健康、 もっと感動、毎日行きたくなる店舗」 をともにつくりましょう

私たちは、多彩な商品、便利なサービスを通じて、お客さまに「ミニストップがあって本当に良かった」と感じていただくことを目指しています。私たちのこの姿勢に共感いただけるオーナーの皆さまをパートナーとし、「毎日行きたくなる店舗」をともにつくっていきたいと考えています。



本部の役割

- ストアアドバイザーによる経営アドバイス
- 商品の開発・サービスの導入
- 広告宣伝活動
- 情報システムの構築
- 品揃えに役立つ最新データの提供
- 会計業務代行
- Yellowtail Program (イエローテイルプログラム) によるスタッフ教育のバックアップ
- 各種教育研修の実施
- 共済制度など各種支援制度など

加盟店の役割

店舗のマネジメント

- 基本4原則 (Quality (品質)、Service (サービス)、Cleanness (クリンネス) に加え、お客さまにとって豊富な品揃え) を徹底した店舗づくり

スタッフのマネジメント

- スタッフの募集・育成・管理

経営のマネジメント

- 売上高および経費の管理など

お客さまへ提供される価値

- 高品質でオリジナリティある商品
- 日常生活に必要な商品の豊富な品揃え
- 欲しい商品がいつでもある (欠品がない)
- 心のこもったサービス
- 清潔な店内
- 選びやすい売場
- ATMの設置
- 収納代行業務
- ゆうパックの取り扱い
- MINISTOP Loppi によるチケットの発券や各種取次サービスなど

QSC と品揃え

コンビニエンスストアの経営は、Quality (品質)、Service (サービス)、Cleanness (クリンネス) と品揃えのほか、お客さまから支持される店舗となるために、地域特性を考えた店舗の独自性やお買物に適した環境づくりも必要です。



Quality (品質)

温度・鮮度・製造工程を管理する「品質管理」と、施設や設備、スタッフの衛生を管理する「衛生管理」を徹底し、安全・安心な価値のある商品を提供します。



Service (サービス)

お客さまの期待に応えるサービスを提供します。そのためには、常にお客さまの視点に立って行動することが大切です。



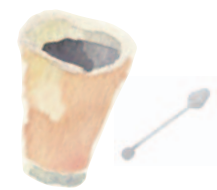
Cleanness (クリンネス)

お客さまにいつでも気持ちよくお買物をしていただくために、清潔できれいな店舗を維持します。



品揃え

お客さまが望まれる商品をいつでもご購入いただけるように発注し、商品棚を整理・整頓します。



Success for Owners 安心の運営サポート



独自の教育プログラム

店舗運営に必要なオーナートレーニングはもちろん、店舗を支えるスタッフ育成を支援する独自の教育プログラムをご提供しています。オーナーの皆さまが安心して店舗運営に臨めるシステムと体制が構築されています。

オーナートレーニングの流れ

開店前のトレーニングはもちろん、開店後もさまざまな研修、教育機会が充実しています。

開店前のトレーニング

▶ 体験実習(1日)

フランチャイズ契約の締結前に体験実習を受講します。

▶ オペレーショントレーニング

第1段階 トレーニングセンター研修(6日間)

第2段階 直営店舗(トレーニング店舗)研修(5日間)

▶ 訓練実習

第3段階 直営店舗(旗艦店・研修店)研修(18日間・休日含む) 実際の店舗で基本業務を習熟します。

修了認定 第3段階の最終金曜日

開店後の教育体制

▶ 契約更改セミナー(3日間)

契約更改の12カ月前から受講が可能です。創業時を振り返り、自己分析や多面評価の結果をもとにグループワークを実施します。それらにより、オーナーとしてどうあるべきか課題を明確にし、これからの新しい7年の経営ビジョンを発表します。

▶ 商品売場勉強会 開催：年2回

店舗のスタッフ全員が参加できる貴重な勉強会です。各シーズンの主力商品や新商品の情報をはじめ、季節ごとの売場づくりに関するノウハウ、スタッフ戦力化の手法、全国から集められた成功事例などを紹介します。また、防犯対策や衛生管理の指導、ミニストップの環境対策に関する周知徹底が図られています。



スタッフ育成

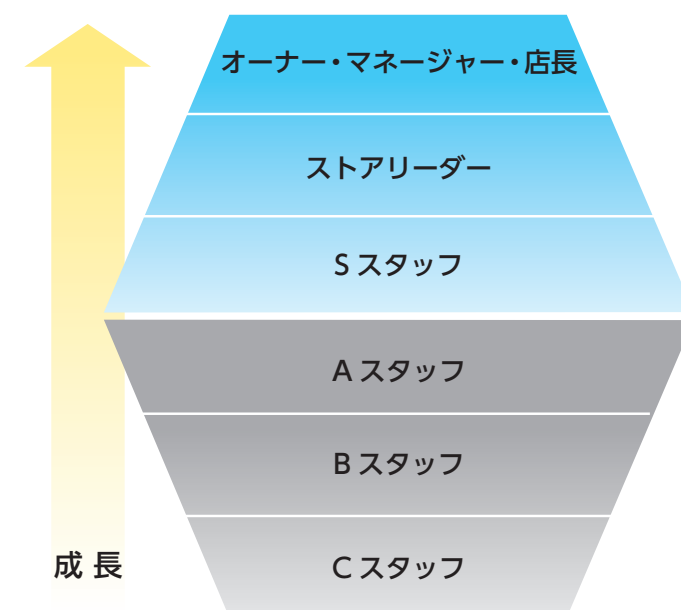
より質の高い接客とサービスを実現し差別化を図るためには、適切な教育プログラムの実施を通じたスタッフの育成が必要です。そして、スタッフを育成していくことは、オーナーの皆さまの大切な役割です。ミニストップは、パート・アルバイトを含むすべてのスタッフの育成に対し、独自のノウハウでオーナーの皆さまをバックアップいたします。

スタッフ教育システム Yellowtail Program (YP)

「Yellowtail Program (イエローテイルプログラム)」は、すべてのスタッフが仕事への高いモチベーションを持ち、着実にスキルアップするためのミニストップ独自の教育プログラムです。「Yellowtail」とは魚のブリのこと。出世魚であるブリのように、ステップアップに必要なスキルを段階的に習得していただき、これを評価認証するプログラムです。これにより、十二分に戦力となる能力、経営感覚を備えたスタッフを育成します。



YP バッジ



安心して経営に専念するための各種制度

ミニストップでは、開店後、オーナーさまに安心して経営に専念していただけるための各種制度を設けています。会計業務の支援から共済制度まで、十分なサポート体制を整えています。

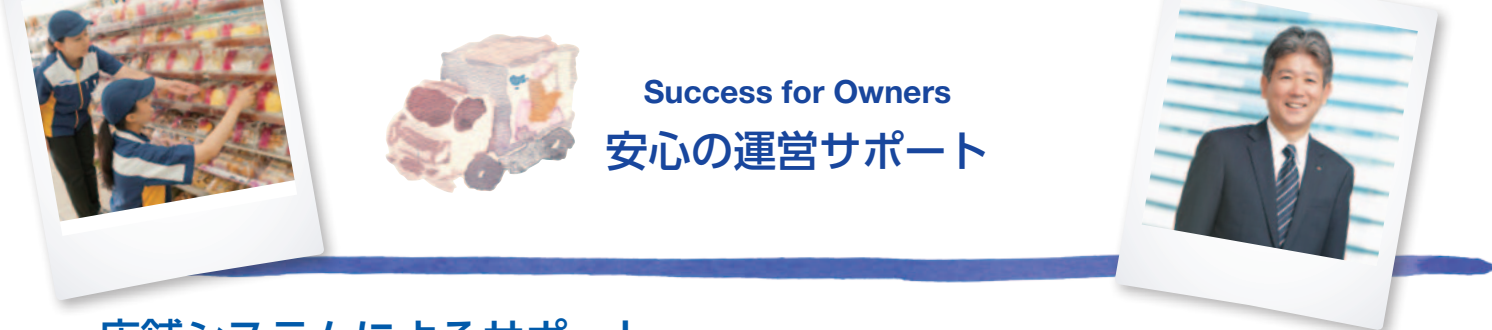
会計業務

- 簿記会計業務の代行
- 損益計算書・貸借対照表の作成
- 加盟店スタッフの給与計算業務代行
- 仕入代金の支払い代行
- 年4回の棚卸作業の代行など

共済制度

オーナー弔慰金とマネージャー弔慰金の保険料は本部が全額負担します。

- オーナー弔慰金制度
- マネージャー弔慰金制度
- 遺族保障制度
- 医療保障制度
- 所得補償制度
- 年金制度
- 傷害補償制度
- 終身医療保障制度
- がん保障制度
- 終身保障制度



Success for Owners 安心の運営サポート

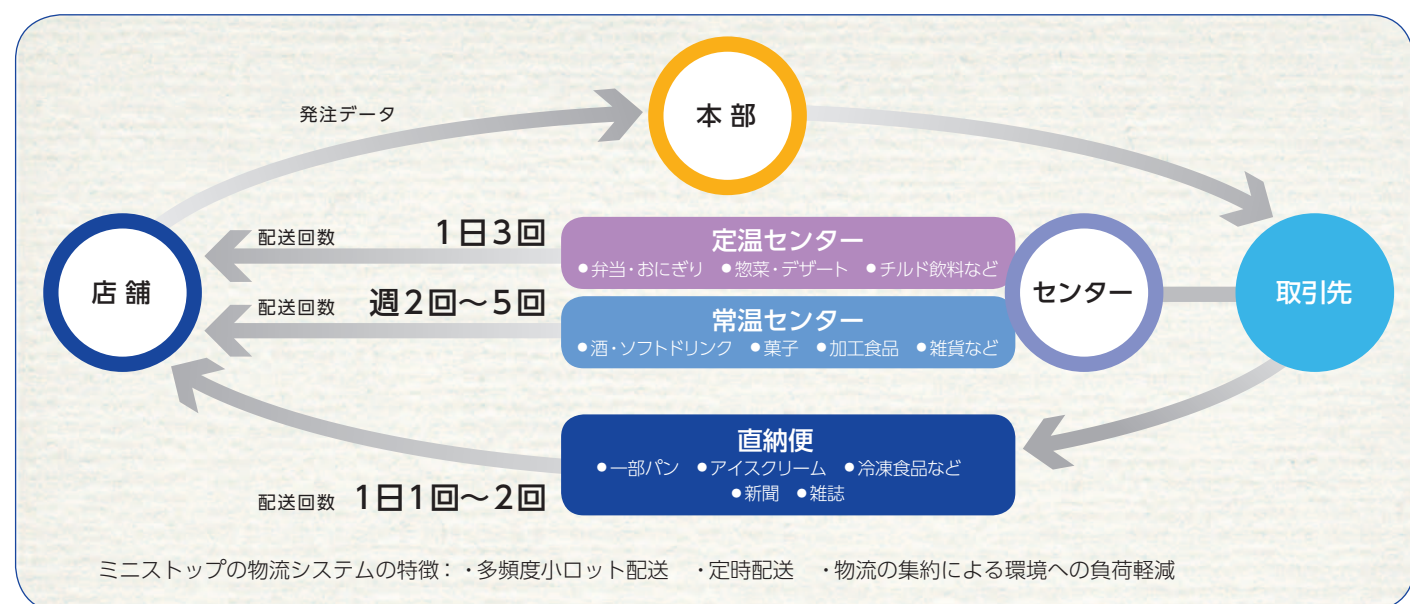
店舗システムによるサポート

コンビニエンスストア経営にとって要となる店舗システムは日々進化しています。第5次店舗システムでは、店舗業務の効率化をはじめとして、立地や客層に合った商品の品揃えやQSCレベル向上のサポート、店舗スタッフ育成ツールなど多様化するニーズに応えるさまざまな仕組みを提供しました。今後も店舗の競争力を向上させるシステムで店舗をサポートいたします。

POSレジ	ストアコントローラ	グラフィックターミナル	ハンディターミナル(検収端末)
 スキャナーやタッチパネルを利用し、各種レジ作業のスピードアップを実現。さらに電子マネーをはじめクレジットカードなどさまざまな支払方法での決済が可能となっています。	 グラフィックターミナル、ハンディターミナル、POSレジなど周辺機器を統括制御する店舗のメインコンピュータ。商品発注、経営管理分析、勤怠管理、情報参照など広範囲な店舗業務をカバーします。タッチパネル画面で誰でも簡単に操作ができます。	 売場を見ながら発注、販売分析、情報参照などを行い、店舗の単品管理をサポートし、お客さまのニーズに合った品揃えを実現します。	 使いやすい小型・軽量の端末です。納品された商品のチェックや返品・鮮度チェック作業に加え、万一停電の際には簡易的なレジとしても利用することができます。

物流システムによるサポート

ミニストップでは、メーカーや問屋からの商品をセンターに集約した、効率的な物流システムを導入しています。商品の特性に合わせ、温度管理が必要な商品は定温センターに、加工食品や雑貨などの商品は常温センターに集約した後、各店舗に納品しています。

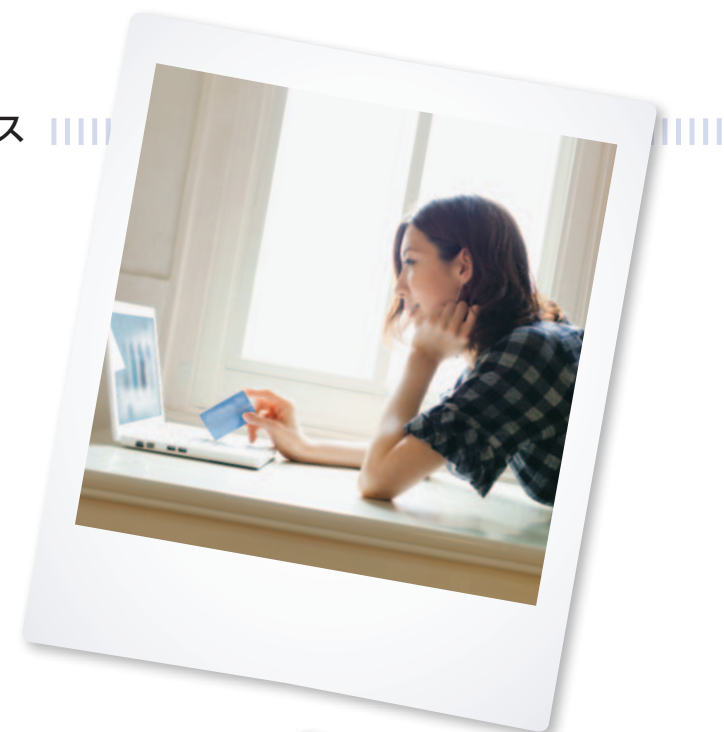


リピーターを増やす本部の支援

ミニストップでは、お買い得情報を配信する会員登録サイト、ギフトカードを含む各種プリペイドカードの取り扱い、公式Facebookページをはじめとするソーシャル・ネットワーキングサービスを通じた情報発信など、サービスの拡充を通してリピーターづくりを支援しています。

Amazon・楽天市場などの商品受け取りサービス

インターネット・ショッピングサイトの「Amazon.co.jp」や「楽天市場」「トイザらス」で購入した商品を、国内ミニストップで店頭受取ができる「コンビニ受け取りサービス」を導入しています。ご自宅や勤務先の近くのミニストップ店舗にあるMINISTOP Loppiを使用することで、購入した商品を24時間365日、いつでも受け取ることができます。



アイテム多彩なギフトカード

ギフトに最適な各種ギフトカードやプリペイドカードも、ミニストップでご購入いただけます。各店舗にギフトカードコーナーを設置しており、音楽、映画、動画、ゲームなどさまざまなコンテンツを楽しめるカードを取り揃えています。



便利な収納代行

ミニストップでは、電気・水道・ガス・電話(携帯)などの公共料金や、通信販売の購入代金のお支払いができます。

注) 払込取扱票の裏面に「ミニストップ」のマークが入っていることをご確認ください。

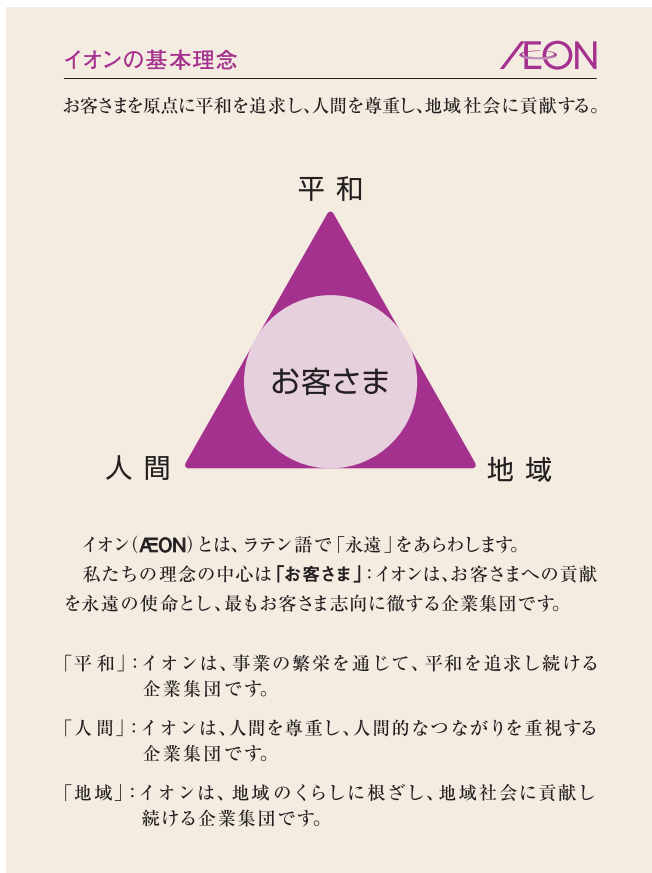


私たちはイオンです。



イオンは小売を中心に、金融、ディベロッパー、サービスなど、300を超える企業で構成されています。多様な事業が有機的に結びつき、高い相乗効果を創出することで、さらなる成長を目指し、革新への挑戦を続けています。

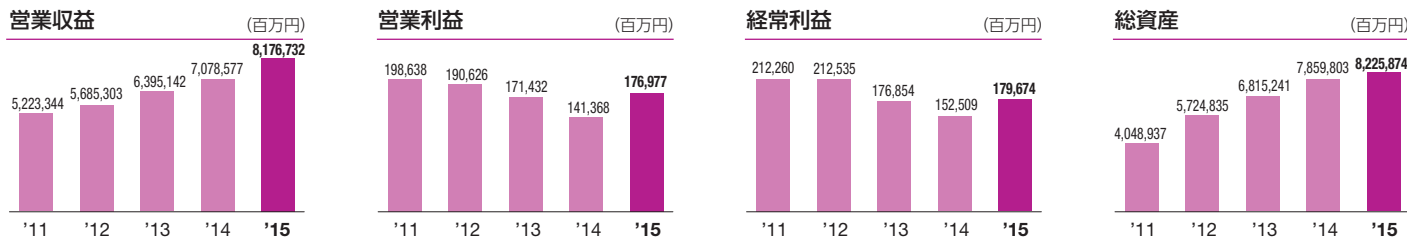
企業理念



イオンは基本理念のもと、**絶えず革新し続ける企業集団**として、

「お客さま第一」を実践してまいります。

主要連結財務データ



グループ主要企業一覧

〈株式公開企業〉

U.S.M.H

ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス(株)
2015年、東証第1部に上場。首都圏を拠点としたスーパーマーケットチェーンである御マルエツ、御カスミ、マックスバリュ関東圏を傘下を持つ共同持株会社。



いなばや
(株)いなばや
1978年、東証第2部に上場し、1984年に第1部へ。東京西部を中心に関東を地盤とするスーパーマーケットチェーン。



ベルク
(株)ベルク
1994年、JASDAQに株式公開。2008年、東証第2部に上場し、2009年に第1部へ。埼玉県、群馬県を中心に展開する地域密着型スーパーマーケットチェーン。



ウエルシア
ホールディングス(株)
2008年、東証第2部に上場し、2012年に第1部へ。ウエルシア薬局などの企業を傘下に、調剤薬局併設型ドラッグストアを展開する持株会社。



ツルハ
ホールディングス(株)
1998年、JASDAQに株式公開。2001年、東証第2部に上場し、2002年に第1部へ。2005年11月に持株会社へ移行。北海道を中心に多店舗展開を進めるドラッグストアチェーン。



マックスバリュ西日本(株)
1997年、大証第2部に上場。2013年、市場統合により東証第2部へ。西日本を地盤とするスーパーマーケットチェーン。

マックスバリュ東北(株)
2000年、東証第2部に上場。東北を地盤とするスーパーマーケットチェーン。

マックスバリュ東海(株)
2004年、東証第2部に上場。静岡県を中心に中部・西関東を地盤とするスーパーマーケットチェーン。

マックスバリュ中部(株)
1987年、名証第2部に上場。中部を地盤とするスーパーマーケットチェーン。

マックスバリュ北海道(株)
1995年、JASDAQに株式公開。北海道を地盤とするスーパーマーケットチェーン。

マックスバリュ九州(株)
2012年、JASDAQに上場。九州を地盤とするスーパーマーケットチェーン。



イオン北海道(株)
1996年、JASDAQに株式公開。1998年、東証第2部・札幌に同時上場し、2000年に東証第1部へ。北海道を地盤とする総合小売業。

イオン九州(株)
2000年、JASDAQに株式公開。九州を地盤とする総合小売業。



サンデー
(株)サンデー

1995年、JASDAQに株式公開。青森県を中心に東北を地盤とするホームセンターチェーン。



ミニストップ(株)

1993年、東証第2部に上場し、1996年に第1部へ。ファストフードを組み合わせたコンビニエンスストアチェーン。



G-FOOT
(株)ジーフット

2000年、前身である靴ツルヤ靴店が名証第2部に上場。2015年に東証第1部に上場。名証第1部へ、足元からのスタイルを提案する靴専門店チェーン。



コックス
(株)コックス

1990年、JASDAQに株式公開。カジュアルファッション専門店チェーン。



タカキュー
(株)タカキュー

1974年、東証・大証・名証第2部に同時上場し、1976年に上記の3取引所第1部へ。2004年より東証のみ上場。2008年8月に純粋持株会社体制へ移行。



AEON CO. (M) BHD.
(マレーシア)

1996年、クアラルンプール証券取引所メインボードに上場。マレーシアを代表する総合小売業。

AEON Stores (Hong Kong) Co., Limited (中国)
1994年、香港証券取引所に上場。香港を代表する総合小売業。



やまや
(株)やまや

1994年、JASDAQに株式公開。2002年、東証第2部に上場し、2004年に第1部へ。酒類を扱う大型専門店チェーン。

純粋持株会社

イオン(株)

GMS(総合スーパー)事業

イオンリテール(株)
イオン北海道(株)
(株)サンデー

イオン九州(株)
イオンスーパーセンター(株)

イオンバイク(株)
イオンペーカリー(株)

イオンリカー(株)
イオン琉球(株)

トップバリュコレクション(株)
(株)ボンベルタ

SM(スーパーマーケット)・DS(ディスカウントストア)事業

ユナイテッド・スーパーマーケット・ホールディングス(株)
マックスバリュ西日本(株)
マックスバリュ東北(株)

マックスバリュ東海(株)
マックスバリュ中部(株)

マックスバリュ北海道(株)
マックスバリュ九州(株)

○(株)いなげや
○(株)ベルク

アコレ(株)
イオンビッグ(株)

イオンマーケット(株)
(株)カスミ

(株)光洋
(株)山陽マルナカ

(株)ダイエー
(株)ビッグ・エー

(株)ビッグ・エー 関西
マックスバリュ関東(株)

マックスバリュ長野(株)
マックスバリュ北陸(株)

マックスバリュ南東北(株)
(株)マルエツ

(株)マルナカ
(株)レッドキャベツ

小型店事業

ミニストップ(株)

オリジン東秀(株)

まいばすけっと(株)

ドラッグ・ファーマシー事業

ウエルシアホールディングス(株)

○(株)メディカルー光

●(株)ツルハホールディングス

●(株)クスリのアオキ

ウエルシア薬局(株)

シミズ薬品(株)

(株)CFSコーポレーション

○(株)ウェルパーク

○(株)ザグザグ

※ドラッグストア・調剤薬局連合「ハピコム」構成メンバー

総合金融事業

イオンフィナンシャルサービス(株)

AEON CREDIT SERVICE (ASIA) CO., LTD.

AEON THANA SINSAP (THAILAND) PLC.

AEON CREDIT SERVICE (M) BERHAD

○イオンリート投資法人

(株)イオン銀行

イオンクレジットサービス(株)

イオン住宅ローンサービス(株)

イオンプロダクトファイナンス(株)

イオン保険サービス(株)

イオン・リートマネジメント(株)

フェリカポケットマーケティング(株)

ディベロッパー事業

イオンモール(株)

イオンタウン(株)

サービス・専門店事業

【サービス事業】

イオンディライト(株)

(株)イオンファンタジー

(株)ツヴァイ

(株)イオンイーハート

イオンエンターテイメント(株)

イオンカルチャー(株)

イオンコンパス(株)

イオンライフ(株)

(株)カジタク

リフォームスタジオ(株)

【専門店事業】

(株)ジーフット

(株)コックス

○(株)タカキュー

アビリティーズジャスコ(株)

(株)イオンフォレスト

イオンペット(株)

(株)イオンボディ

クレーズ日本(株)

コスメーム(株)

タルボットジャパン(株)

ブランドジェス(株)

(株)未来屋書店

(株)メガスポート

メガベトロ(株)

ローラアッシュレイジャパン(株)

ATジャパン(株)

R. O. U(株)

デジタル事業

イオンリンク(株)

※2016年4月1日付でイオンドットコム(株)に社名変更

国際事業

【中国】

AEON (CHINA) CO., LTD.

AEON Stores (Hong Kong) Co., Limited

AEON EAST CHINA (SUZHOU) CO., LTD.

AEON South China Co., Limited

AEON (HUBEI) CO., LTD.

BEIJING AEON CO., LTD.

GUANGDONG AEON TEEM CO., LTD.

QINGDAO AEON DONGTAI CO., LTD.

【ASEAN】

AEON ASIA SDN. BHD.

AEON CO. (M) BHD.

AEON BIG (M) SDN. BHD.

AEON INDEX LIVING SDN. BHD.

AEON VIETNAM Co., LTD.

AEON (CAMBODIA) Co., Ltd.

AEON (Thailand) CO., LTD.

DONG HUNG INVESTMENT DEVELOPMENT

CONSULTANCY JOINT STOCK COMPANY LIMITED

PT. AEON INDONESIA

○FIRST VIETNAM INVESTMENT JOINT STOCK COMPANY

機能会社

○(株)やまや

イオンアイビス(株)

イオンアプリ創造(株)

イオングローバルSCM(株)

イオントップバリュ(株)

イオンフードサプライ(株)

イオンマーケティング(株)

コルドンヴェール(株)

(株)生活品質科学研究所

Tasmania Feedlot Pty. Ltd.

○イオンデモンストラーションサービス(有)

■公益財団法人 イオンワンパーセントクラブ

■公益財団法人 イオン環境財団

■公益財団法人 岡田文化財団

太字は株式公開企業

○は持分法適用関連会社

●は友好提携会社

【2016年2月29日現在】

会社データ

(2016年2月末日現在)

社名	ミニストップ株式会社
設立	1980年(昭和55年)5月21日
資本金	74億91百万円
店舗数	5,058店舗(エリアフランチャイズを含む)
従業員数	891名
本社	〒261-8540 千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1
事務所	幕張事務所 〒261-0023 千葉県千葉市美浜区中瀬1-6 NTT 幕張ビル18階 東海地区事務所 〒453-0015 愛知県名古屋市中村区椿町16-16 ナゴヤ大和ビル3階 東北地区事務所 〒983-0864 宮城県仙台市宮城野区名掛丁206-22 近畿地区事務所 〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町3-4-10 安土町ビル2階 九州地区事務所 〒812-0004 福岡県福岡市博多区榎田2-1-70 2階
事業内容	イオンの小型店事業としてコンビニエンスストア『ミニストップ』を展開。 ミニストップ店経営希望者とフランチャイズ契約を締結し、商品情報や経営ノウハウを提供。ミニストップ店においては、ファストフード、デイリー食品、加工食品、家庭用品、雑貨等の商品販売および公共料金の収納代行などのサービスの提供を行う。
ウェブサイト	http://www.ministop.co.jp/

役員

(2016年5月21日現在)

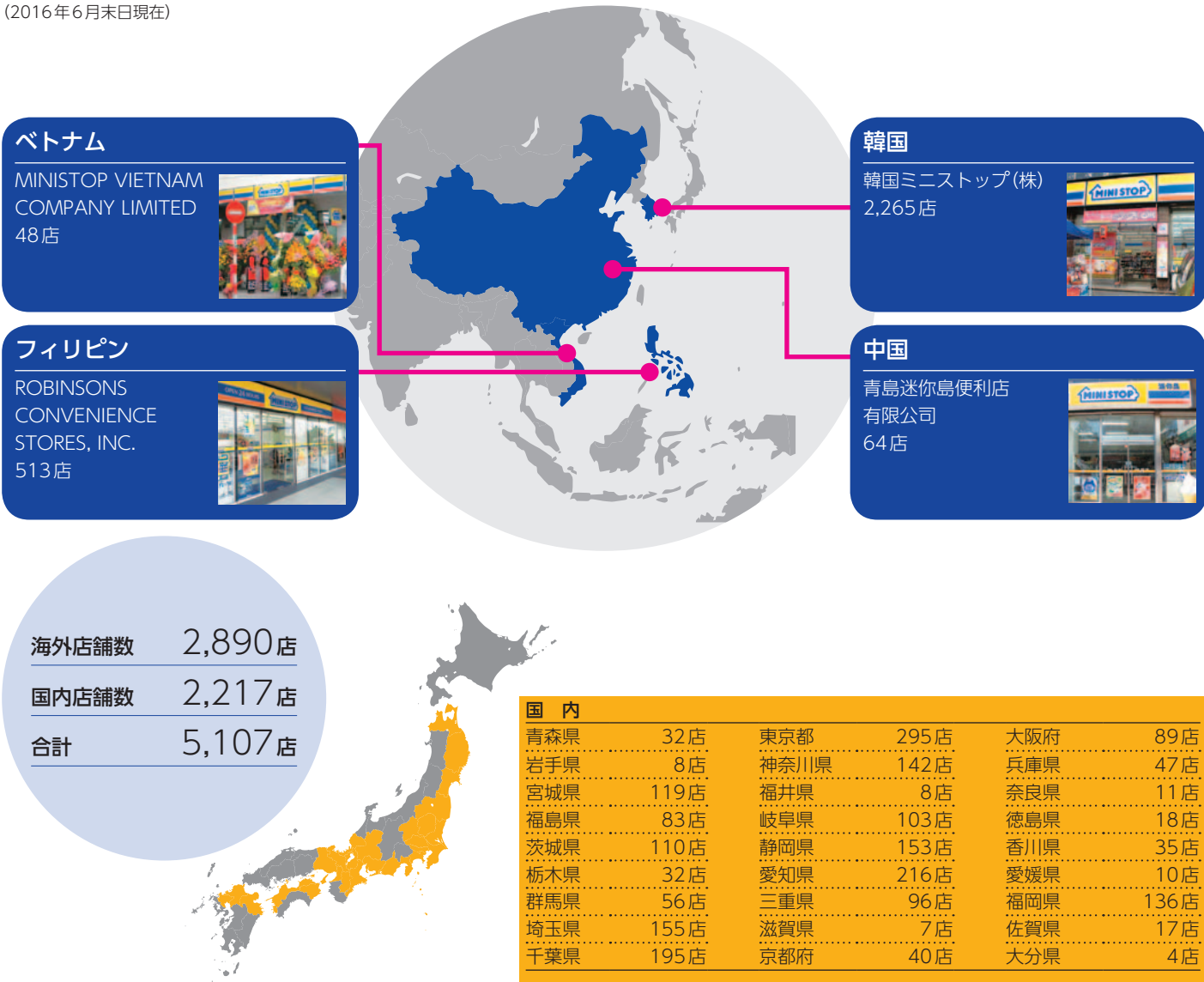
代表取締役社長	宮下 直行	常務執行役員	藤本 明裕
取締役 常務執行役員	堀田 昌嗣	執行役員	小 関 哲
取締役 執行役員	加 藤 聡	執行役員	小西 守彦
取締役 執行役員	伊藤 嘉規	執行役員	須藤 昭彦
取締役	大 池 学	執行役員	中山 博之
社外取締役	山川 隆久	執行役員	渡 邊 亮己
社外取締役	米 谷 真	執行役員	桑 迫 俊次
社外監査役 (常勤監査役)	清水 高登	執行役員	仲 澤 光晴
社外監査役	岡野 文彦		
社外監査役	東海 秀樹		
社外監査役	福井 恵子		

ミニストップのあゆみ

1980	5月	ジャスコ(株)(現:イオン(株))100%出資により、ミニストップ(株)を設立。資本金3,000万円。
	7月	第1号店「大倉山店」を横浜市に開店。 1号店開店時よりバーコード付オーダーブックと大型コンピュータによるオンライン発注システムを導入。
1981	4月	首都圏にて、フランチャイズ加盟店の一般公募を開始(6月よりフランチャイズ事業開始)。
1982	11月	東海地域への店舗展開を開始。
1985	5月	店舗数が100店となる。
1987	2月	POSシステム全店導入完了。EOB端末およびディスプレイ画面による発注システムへ変更。
1988	4月	物流業務強化のため、当社の100%出資によりネットワークサービス(株)を設立。
1990	2月	公共料金の収納代行サービス開始。
	6月	韓国・味元通商(株)(現:韓国ミニストップ(株))とコンビニエンスストア事業展開に関する技術援助契約を締結(11月、1号店開店)。
1991	12月	「ミニストップ緑の環境推進クラブ」を設立。 「花の輪運動」への協賛開始。
1993	7月	東京証券取引所市場第二部に株式上場。 資本金を41億5,753万3,000円に増資。
1994	2月	店舗数が500店となる。
	9月	資本金を74億9,153万3,000円に増資。
1996	8月	東京証券取引所市場第一部に指定。
1998	3月	2連式ソフトクリームフリーザーを全店導入。バナナ以外のフレーバーのソフトクリームが提供可能となる。 店舗数が1,000店となる。
2000	3月	フィリピン共和国ROBINSONS CONVENIENCE STORES, INC.と海外エリアフランチャイズ契約締結(12月、1号店開店)。
2001	9月	業界初のリアルタイム統合輸送配送管理システムを導入。
	12月	マスターリースフランチャイズ契約のパッケージ改定。
2002	5月	土曜日のソフトクリーム売り上げの1%を「花の輪運動」に寄付することを決定。
2003	6月	大象流通(株)(現:韓国ミニストップ(株))を子会社化。
	9月	ソフトクリームマイスター制度導入。
2004	2月	店舗数が1,500店となる。
	3月	フランチャイズパッケージ「クリエイティブリースタイプ」新設。
2005	2月	小中学生向け職場体験学習「チャイルドインターンシップ制度」開始。
	6月	郵政公社(現:郵便事業(株))の「ゆうパック」取り扱い開始。
2006	12月	プライバシーマークの取得。
2007	5月	愛媛県に出店し、全国1都2府24県となる。 国内外店舗数が3,000店となる。
2008	3月	イオンの電子マネー「WAON」の取り扱いを開始。
2009	1月	青島永旺東泰商業有限公司(青島イオン)と合併会社「青島迷你島便利店有限公司(青島ミニストップ)」を設立(7月、1号店開店)。 京都市内の店舗にLED照明看板を設置。
	12月	国内商業施設初のFSC®認証を取得した店舗を開店。 国内店舗数が2,000店となる。
2011	9月	国内外店舗数が4,000店となる。
	12月	ベトナム社会主義共和国にて1号店開店。
2012	5月	海外店舗数が国内店舗数を上回る。
2013	3月	マルチメディア端末「MINISTOP Loppj」を導入。
2014	9月	女性をターゲットにした新業態「cisca」を実験店として開店。
	11月	「Amazon.co.jp」購入商品の店頭受取サービス開始。
2015	2月	ソーシャルギフトサービス「MINISTOP e-GIFT」開始。
	10月	花の輪運動25年。延べ13,229校の小学校へ337万株の花の苗を贈呈。
	12月	国産FSC®認証材を使用した木造店舗が「ウッドデザイン賞2015(新・木づかい顕彰)」受賞。
2016	2月	国内外店舗数が5,000店となる。
	6月	厚生労働大臣認定「えるぼし」マーク取得。

店舗展開

(2016年6月末日現在)



主要財務データ(単体)

